

校長室だより

共学共高

第
92
号

令和8年4月13日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

ようこそ63期生～新入生歓迎会

4月11日(土)第63期生となった新入生を迎えて、新入生歓迎会が第1大体育館で開催された。

吹奏楽部の「勇気100%」の演奏の下に、新入生たちが入場してくる。在校生と教職員は拍手で迎える。やや緊張した表情の新入生が多いように見える。

開会式では、実行委員長のHさんの開会宣言がなされ、いよいよ始まりである。この日のために、舞台演奏をする部活動などは練習を繰り返し、前日までリハーサルを積み重ねてきた。

実は、前日のリハーサル中に第1体育館の幕のワイヤーが老朽化のために切れてしまい、幕の開閉ができなくなってしまった。急遽、照明を暗転することによって次の団体に切り替える措置をとるというハプニングがあったのだ。そうしたことをものともせず、柔軟に乗り越えてしまうのが、担当教員と実行委員会生徒の素晴らしいところである。

ここで引き続き吹奏楽部の演奏が披露される。「アニメ・ヒロイン・メドレー」と称して、懐かしい曲目が演奏される。今回は、衣装も凝っている。最前列の生徒は、魔法使いサリーの衣装を身に付けている。その他にも秘密のアッコちゃん、プリキュア、おジャ魔女カーニバルが明るく元気に演奏される。1年生も手拍子をしたり、ペンライトを振ったりして楽しんでいる。



続いて、生徒会、部活動紹介である。生徒会の役員たちは、マスコット・キャラクター

「しらうめくん」が書かれた模造紙を広げて、歌と共にしらうめくんの書き方を披露する。なかなか面白いアイデアである。部活動は、バドミントン部、卓球部、バスケットボール部、ソフトボール部、硬式テニス部がそれぞれ登壇した。実は、私はバドミントン部の顧問である。3人の幹部とともに、シャトルを打って、見事にキャッチした4人の1年生に豪華(?)景品を渡すという企画に登場したのである。なんと、そのうちの一人は中学生の時に体験入学で私の「熱気球を上げよう」という授業に参加してくれた生徒であった。硬式テニス部は舞台前において、実際にラケットでボールを打ち合う実演を披露する。私立大会第3位入賞の選手もいる部である。卓球部とソフトボール部は部員が少数なので、一定数の新入部員が入ってくれるといいですね。バスケットボール部も踊りながら元気なパフォーマンスを披露している。きっと確実に新入部員をゲットすることだろう。



舞台には演劇部の登場である。私は演劇部をひいきにしている(?)、彼女たちの活動に期待を寄せている一人でもある。今回は、高校の演劇部の部員たちが新歓(新入生歓迎会の

略称)で何をやるかを相談し、それを演じている様子が見られるという企画である。具体的には、「新人メイド」「鉛筆を題材にしたシーン」「推し(演劇部の日常)」「戦隊もの」「メロス」など。記憶にある限りキーワードを並べて記載しているが、とにかく展開が早く、また笑わせる勘所が豊富にあって、全校生徒にも受けていた。メイド役のOさんやKさんの演技にも笑わされた。私のことを「バドミントン界の大谷翔平」と持ち上げてくれたのは照れ臭い。また、リア充をやたらに否定するところも大きな笑いが生じていた。この脚本はMさんか、Hさんによるものだろうと予測していたが、実際はHさんによるものだったようだ。演劇部のみんな、また楽しませてくださいね。



次は、実行委員会企画である。ここでは委員の生徒たちが前に出てきて、クイズを出題する。○か×で答えればよい。例えば、「今年の新入生は白梅 63 期である。○か×か」「1 年生の学年主任は S 先生である」「M 先生が顧問を務めているのはダンス部である」といった具合だ。概ね、みんな正解していた。

再び、部活動紹介である。児童文化部、手芸部、調理部、国際文化部、文芸部、茶道部、華道部がそれぞれ登壇した。部員獲得が必須の児童文化部は踊りながら PR する。白梅祭で子供たちのプレイルームが継続するように部員を獲得してほしいものだ。調理部もエプロンをして踊りながら紹介する。体験入部も 1 回あたり 15 名と人数制限がある。昨年度は、家庭科室が 60 名を超える大変な状況になっていたことを踏まえたものと思われる。国際文化部は ALT の先生と共に活動することを紹介する。文芸部は「読書好き」の人にピッタリの部活動と紹介している。茶道部は浴衣姿で「茶道のカリスマになりませんか」と投げかけている。茶道部も華道部も 3 年間しっかり取り組むと免状が授与されるとのことである。



次の実行委員会企画は、ジャンケン大会である。1年生全員が起立する。委員の持つ、3種類のパネル（ゲー、チョキ、パー）とジャンケンをし、勝ち残っていくゲームである。最後は2人になり、いずれの生徒も景品をゲットした。



舞台では、書道部の登場である。本校では、書道ガールズとも呼ばれる生徒たちのパフォーマンスは、大きな作品づくりである。いつものことながら、大変インパクトがある。また、いいメッセージを私たちに伝えてくれる。今回は、「飛翔」と「彩」の2つである。励まされた新入生も多いのではないかな。

続いて、箏曲部の登場である。今回の曲目は、ジブリ作品、魔女の宅急便から「海に見える街」と Omoinotake さんの「幾億光年」だ。前者はよく知られた旋律であるが、後者は私個人としては、初めて聞いた。いずれも素敵な演奏で、1年生も集中して聴いていた。



次の実行委員会企画は「イントロドン」である。曲目のイントロ部分が一瞬流され、わかった人が挙手をするというものである。ものすごい速さでわかる1年生がほとんどである。ただ、1曲だけ1年生から手が挙がらないものがあって、そこだけは上級生が答えていた。

続いて、部活動紹介は、剣道部、バレーボール部、ハンドボール部、陸上競技部、ソフトテニス部、サッカー同好会、JRC、自然科学部、美術部の順に登壇する。剣道部は防具を身

に付け、竹刀を持っての紹介である。いつも元気なバレーボール部はサングラスをして踊って、バスをして、まとまりのあるパフォーマンスである。ハンドボール部も筋トレをするシーンの後に、プロテインを飲む様子を見せながら紹介する。高速バスのお披露目があるのかと思っていたが、やわらかい路線であった。陸上競技部は普段の練習着のまま登壇したのですぐにそれとわかる。インターハイを目標にしていることが紹介された。ソフトテニス部はラケットを持って登場したが、硬式のようにボールを打つ実演ではなく、言葉での紹介である。バスケットボール部とソフトテニス部は、夏と春にバドミントン部と合同で合宿をしているので、私も親近感をもっている部員たちである。サッカー同好会は、部員が一人なので、何とか増やしてもらいたいものである。JRCとはJunior Red Crossの略称で、コンタクトレンズケースを回収する取組を紹介した。自然科学部は、白衣を着ての登場である。自然界の謎解きに挑戦していることや、毎年学会などで研究発表をしているとの紹介があった。美術部は恒例の巨大なニンジンを持参して活動の紹介をした。





舞台には、バトン部が登場する。ダンス部と共に、生徒たちに人気の部活動である。いつものように元気あふれるチアダンスやバトン演技などを披露してくれた。新3年生はもちろんのこと、新2年生の技量が向上しているように感じた。



続いて、部活動紹介は、社会部、マンガ研究部、放送部、写真部の登壇である。社会部とマンガ研究部では、「ゆるく楽しく」という共通のキーワードが紹介されていた。本校には全国大会へ出場する部もあるが、多様性があるっていいではないか。放送部は行事等で司会などを務めていることを紹介していた。機材の準備等も大切な仕事である。写真部は、D棟の階段踊り場などに自分たちの作品を展示してくれている。1年生にも見てほしいものだ。



舞台では、合唱部の登場である。部員は3人と少数であるが、素敵なハーモニーを聴かせ

てくれる。演奏曲は、「春のメドレー（童謡のメドレー）」と「美女と野獣」である。1年生も思わず聴き入っている。

続いて、ダンス部の登場である。静の合唱部の後は、動のダンス部である。生徒たちの歓声が舞台に向けて届けられる。私は曲名などには疎いのだが、J-POP や K-POP の曲に合わせてダンスが次から次へと披露される。心拍数はかなり上がるのではないだろうか、と心配する自分がある。こちらも人気の部活動である。



最後の実行委員会企画は、「大玉転がし」である。弥生祭に引き続いて、大きなビーチボールをできるだけ落とさないように1年生の頭上で運ぶものである。1年生全体を2分して、勝敗を競う。2回の競技でいずれも前半クラスが勝利した。みんな楽しんでいる。



舞台には、軽音楽部の登場である。部内のオーディションを勝ち抜いたバンドが演奏する。最近の音楽からすっかり疎くなってしまった私にはわからない曲がほとんどだが、なかにはオリジナル曲を演奏するバンドもあった。こちらも部員数の多い人気の部活動である。

閉会式では、実行委員会副委員長のBさんによる閉会宣言があり、新入生歓迎会も幕を下ろす。最後は、2、3年生が合唱するAKB48の「会いたかった」に送られて、1年生が退場する。私の近くにいた1年生に感想を聞いたところ、「メッチャ楽しいです。」「高校って楽しすぎます。」という答えが返ってきた。

これからの白梅ライフが充実したものとなることを願っている。



(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）